

平成 1 8 年度緊急発進実施状況

1 9 . 4 . 2 7

統合幕僚監部

19.4.27

統合幕僚監部

平成18年度の緊急発進実施状況について

1 全般

平成18年度の緊急発進回数は、239回であり、前年度の229回に比べ10回増加しました。

推定を含みますが、緊急発進対象機の国籍別の割合は、ロシア機が約82%、中国機が約9%でありました。

2 方面隊別の状況

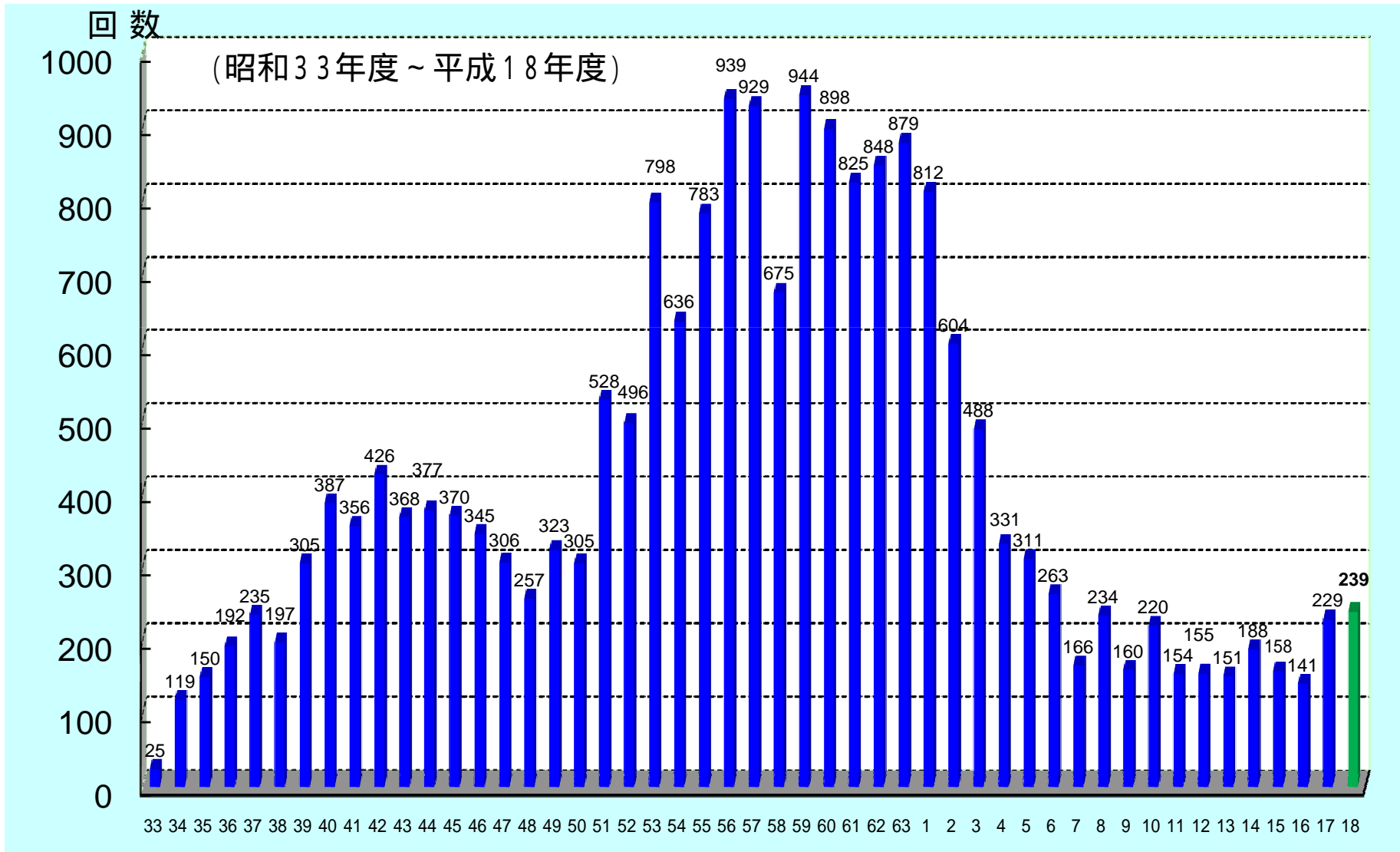
方面隊別の状況については、北部航空方面隊が123回、中部航空方面隊が57回、西部航空方面隊が25回及び南西航空混成団が34回の緊急発進を実施しました。

17年度と比べ北部航空方面隊、中部航空方面隊が増加、西部航空方面隊、南西航空混成団が減少しました。

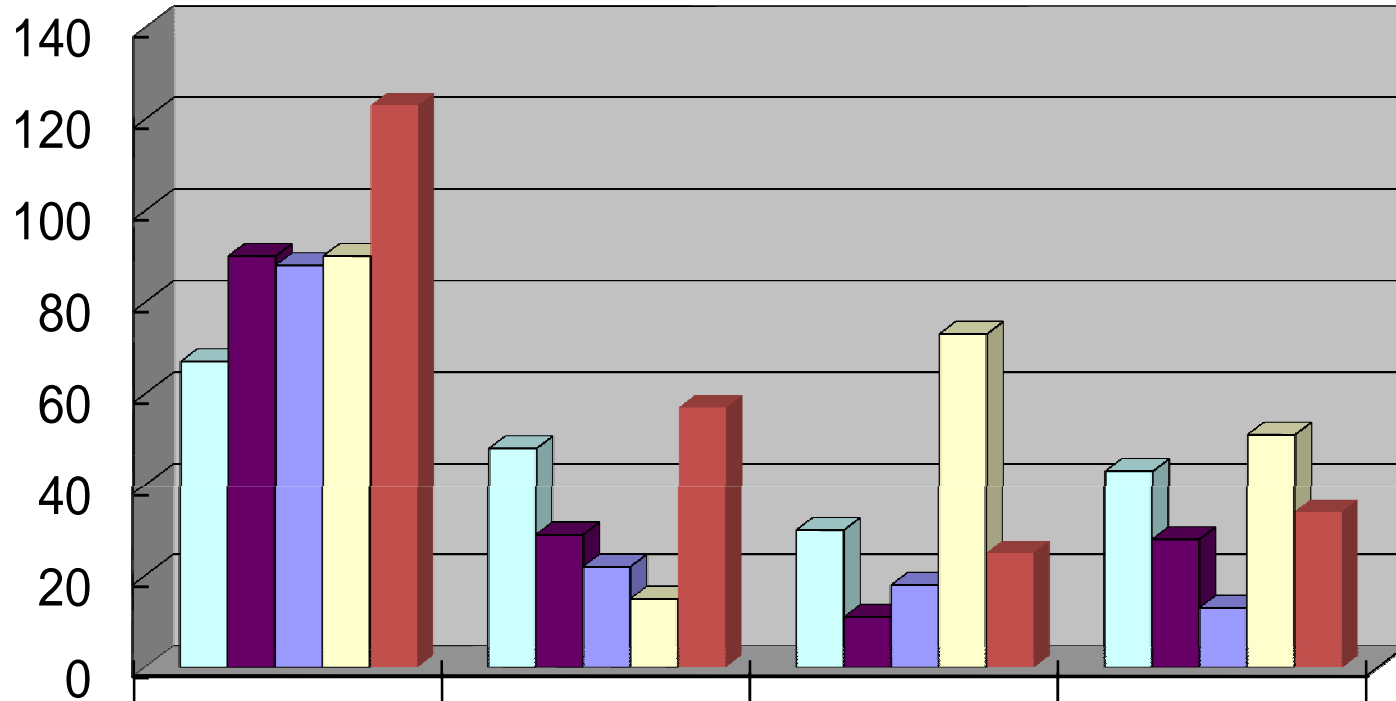
- 添付資料：
- 1 年度緊急発進回数の推移
 - 2 航空方面隊別緊急発進回数の推移
 - 3 領空侵犯の事例
 - 4 国別緊急発進回数

年度緊急発進回数推移

19.3.31現在

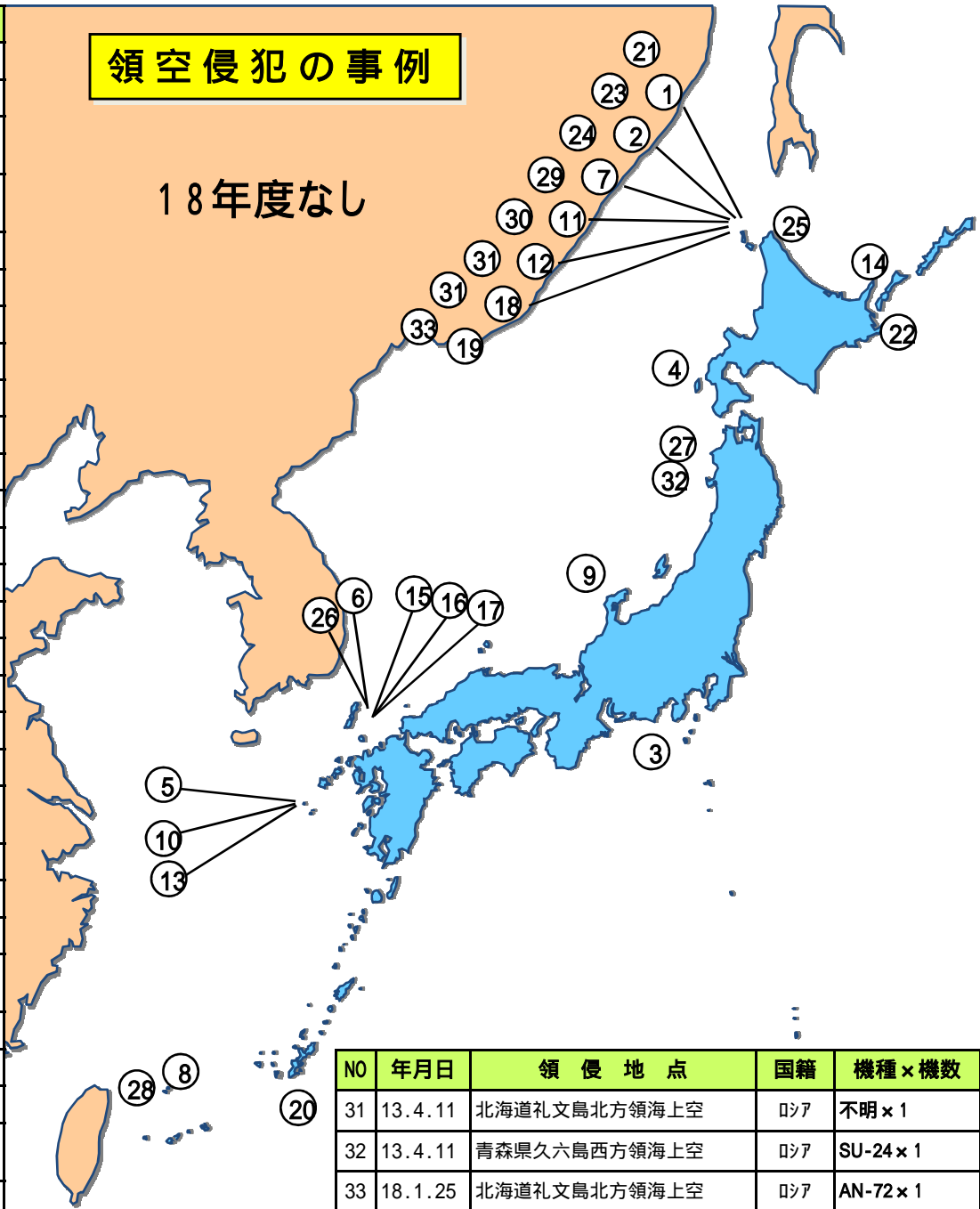


航空方面隊別緊急発進回数推移(14～18年度)



	北空	中空	西空	南混
14年度	67	48	30	43
15年度	90	29	11	28
16年度	88	22	18	13
17年度	90	15	73	51
18年度	123	57	25	34

NO	年月日	領 優 地 点	国籍	機種×機数
1	42. 8. 19	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
2	49. 2. 7	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
3	50. 9. 24	伊豆諸島の式根島及び神津島間の領海上空	ソ連	TU-95×2
4	51. 9. 6	北海道茂津田岬の沖合上空～函館空港までの間(MIG-25事件)	ソ連	MIG-25×1
5	52. 9. 7	五島列島西方の白瀬島北西領海上空	ソ連	TU-95×2
6	53. 3. 17	対馬東方領海上空	ソ連	TU-95×1
7	53. 12. 5	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
8	54. 11. 15	尖閣諸島赤尾嶼南方領海上空	ソ連	TU-95×2
9	55. 6. 29	能登半島北方舩倉島北東領海上空	ソ連	IL-38×2
10	55. 8. 18	五島列島南東領海上空	ソ連	IL-62×1
11	56. 6. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	IL-14×1
12	56. 7. 24	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
13	57. 4. 3	長崎県男女群島鳥島西方領海上空	ソ連	IL-62×1
14	58. 10. 15	北海道知床岬北東領海上空	ソ連	不明×2
15	58. 11. 15	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-16/95×各1
16	59. 11. 12	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-16×1
17	59. 11. 23	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-95/142×各1
18	61. 2. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
19	62. 8. 27	北海道礼文島西方領海上空	ソ連	不明×1
20	62. 12. 9	沖縄本島上空及び徳之島・沖永良部島間の領海上空	ソ連	TU-16×1
21	1. 4. 21	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
22	3. 7. 6	北海道根室半島南方領海上空	ソ連	AN-30×1
23	3. 8. 15	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	TU-95×2
24	4. 4. 10	北海道礼文島上空及び稚内北西領海上空	ロシア	AN-12×1
25	4. 5. 7	北海道枝幸沖領海上空	ロシア	不明×1
26	4. 7. 28	長崎県対馬東方領海上空	ロシア	TU-154×1
27	5. 8. 31	青森県久六島西方領海上空	ロシア	IL-20×1
28	6. 3. 25	尖閣諸島魚釣島領海上空及び黄尾嶼領海上空	台湾	B-350×1
29	7. 3. 23	北海道礼文島領海上空	ロシア	MIG-31×1
30	13. 2. 14	北海道礼文島領海上空	ロシア	TU-22×2, 不明×2



国別緊急発進回数(過去5年間)

19.3.31現在

年度 国	14	15	16	17	18
ロシア	145	124	118	116	196
中国	0	2	13	107	22
台湾	27	18	0	2	8
その他	16	14	10	4	13
回数	188	158	141	229	239

国籍は、推定を含む。